

神戸市 震災 20 年継承・発信事業

■背景・目的

神戸市では、阪神・淡路大震災の未経験者の割合が 4 割を超えるなど震災への市民の意識の低下が危惧されている。

来年 1 月 17 日に震災から 20 年の節目を迎えるのを機に、震災の記憶の風化を防止し、経験や教訓を継承し、安全・安心なまちづくりを推進する。また、震災時に世界から支援を受けた都市として、被災地の復興やコミュニティ再生等に「貢献する都市としての神戸」の意識を多くの市民と共有し、醸成していくための活動を展開し、広く発信していくために、市民とともに震災 20 年継承・発信事業を展開していく。

■基本コンセプト

震災の経験や教訓の継承と発信

市民が相互に励まし合って神戸のまちを再生させた経験や教訓を次世代に継承するとともに、その成果を広く発信していく。

「貢献する都市としての神戸」の意識の醸成と定着、活動の展開

南海トラフ巨大地震や異常気象等による自然災害への危惧が高まる中で、震災時に世界から支援を受け、市民、事業者、NPO、行政など多様な主体が協働してまちを再生させた経験を災害の復興やコミュニティ再生等に活かしていく「貢献する都市としての神戸」の意識醸成と発信の取組みを展開していく。また、東日本大震災等の被災地への支援を継続していく。

■事業展開

①実施期間

平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日 ※一部事業に関しては平成 27 年度も実施

②展開方法

各局室区の震災に関係する事業を『震災 20 年継承・発信事業』として集約し、基本コンセプトに基づいて各事業を実施することで、震災 21 年以降も事業の成果が生かされていくことを目指す

③震災関連事業の情報発信

神戸市ホームページ内に特設サイトを開設し事業一覧を紹介しており、主要事業についてはリンク先で詳細を発信中

④震災 20 年ロゴマーク

震災 20 年継承・発信事業ロゴマークを作成し、震災関連事業であるか否かを問わずチラシ、ポスター等に掲載して 20 年目であることの周知を図るとともに、震災について考えてもらうきっかけとする

「震災 20 年継承・発信事業」進捗状況

1. 震災 20 年継承・発信登録事業【10 月 10 日現在】

神戸市特設ホームページにて掲載中
<http://www.city.kobe.lg.jp/shinsai20/>

総事業数：63 事業（うち新規 18）

－実施前：42 事業（うち新規 10）

－実施中：12 事業（うち新規 6）

－実施済：9 事業（うち新規 2）

※「新規」とは、震災 20 年に当たり新規事業として実施しているもの

2. ロゴマーク活用状況【11 月 5 日現在】

所管別	件数
庁内	37
外郭団体	12
その他	16
合計	65

使用媒体	件数
ちらし、ポスター、HP 等	46
会議資料及び報告書等	11
名刺	5
その他	3
合計	65

※全 65 項目中、震災 20 年事業は 18 項目

3. 震災 20 年ロゴマーク

